

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	中学校営繕事業			
予算科目	10 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課: 学校教育課		電話番号(内線): 733	
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 皆川 竜男	
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市内中学校 4校			
事業の必要性	生徒の教育の場にふさわし環境が、必要なため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	市内5中学校	
運営方法	【運営方法】 直営	【運営費(予定)】 ##		
事業の目的	生徒が、安全で、安心して過ごせる学校施設の整備を図る。			
事業の内容	中学校施設及び設備の修繕・改修			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	10,233	28,883	5,232	25,076
	人件費	1,193	804	402	804
	合計	0	29,687	5,634	25,880
人件費 内訳	人工数	0.15	0.10	0.05	0.10
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,193	804	402	804
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	11,426	29,687	5,634	25,880

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
設計委託							
営繕工事							
年度別事業費							
財 源	国・県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						
国・県支出金等名称							0

成果指標				
成果指標	支出額÷予算額			
指標設定の考え方	安全で安心な施設の整備が図れたかを指標とすべきと考えるが、設定が難しいため、予算額(学校の要望)に対する執行率を指標とし整備状況とする。なお、施工時にコストの縮減等適正な執行に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目標	100	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	学校施設の維持管理は、子ども達の安全を守るためにも必要不可欠なものである。今年度計画していた営繕工事については、各学校と施工時期を調整しながら実施することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本年度、計画していた営繕工事は、学校等との調整をしながら適切に実施できた。学校施設の営繕工事については、安全確保、教育的ニーズに基づき、継続的に実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題